

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	加古川駅南ミニ市役所維持管理事業		
部局名	市民部	課(室)名	加古川市民センター

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する	款	02 総務費
施策	03 都市拠点の機能を充実する	項	01 総務管理費
期間	平成16年度～永年	目	17 市民センター費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	020 加古川駅南ミニ市役所維持管理事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	平成16年度より中心市街地活性化の観点から、JAビルに「加古川駅南ミニ市役所」を開設し、加古川市民センターなどが業務を行っている。現在、JAビルは築40年近く経過し、施設の老朽化への対応策が必要となっており、市民の利用に支障が生じないよう対策を講じていく必要がある。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
加古川駅南ミニ市役所利用者	加古川駅南ミニ市役所を運営するため維持補修管理する。	加古川駅南ミニ市役所を快適に利用できる状態にする。				
対象指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費		千円		93,629	92,009	
成果指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値 目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	中心市街地活性化を図る観点から、加古川駅周辺への集客を促す行政サービス機能を集積した施設として重要な役割を果たしている。より良い行政サービスを市民に提供するため、当施設を適正に維持管理していくことは不可欠である。
--	--

※事業費と財源内訳

決算額	92,009	内訳	国費	県費	市債	他	51,959	一般	40,050
-----	--------	----	----	----	----	---	--------	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	放置自転車指導撤去返還事業		
部局名	建設部	課(室)名	土木総務課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する	款	08 土木費
施策	03 都市拠点の機能を充実する	項	02 道路橋梁費
期間	平成18年度～ 永年	目	01 道路橋梁総務費
事業区分	⑤市施策事業(経常)	細目	010 自転車対策事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等	道路法、(通称)自転車法、加古川市自転車等の放置の防止に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	加古川市自転車等の放置の防止に関する条例の施行と併せて、放置自転車指導撤去返還事業により、自転車等放置禁止区域を指定し、原則として即日撤去を実施することで歩行者等の通行の安全の確保と防災活動の円滑化が図られている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)					
交通手段として自転車を使用する市民	各鉄道駅周辺に有料及び無料駐輪場を整備し、自転車の放置に対する指導啓発及び条例に基づく放置自転車の撤去、移送等による駐輪マナーの向上を図るとともに、駐輪場の確保、維持管理を行う。	放置自転車対策を進めることにより、駅周辺の広場や道路等の公共の場の機能の確保を図り、美しいまちなみの保全を図る。					
対象指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
加古川市内の自転車防犯登録台数		台	22,073	21,454	21,573		
活動指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
放置自転車等撤去台数		台	2,600	2,744	2,782	2,000	平成28年度
有料駐輪場利用率		%	66.7	66	66.8	75	平成28年度
活動指標分析結果	鉄道駅における有料・無料駐輪場について、必要台数の確保は十分に図られている。しかし依然として、放置自転車の台数は減少していない。						
事業費		千円	58,220	57,734	52,350		
成果指標		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
自転車等放置禁止区域内の放置自転車に関する苦情件数		件		0	0	0	平成28年度
			0	50	50		
成果指標分析結果		駅周辺の広場や道路等の公共の場の機能確保を図るため放置自転車の撤去を実施することで、美しいまちなみの保全が図られ、市民からの放置自転車に対する苦情も減少している。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れる余地がある
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	おおむね適正であり、当分の間見直す必要がない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
事業のPR等で市民に浸透してきている。

※事業費と財源内訳

決算額	52,350	内訳	国費	県費	市債	他	2,980	一般	49,370
-----	--------	----	----	----	----	---	-------	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	中心市街地整備事業に要する一般的経費		
部局名	都市計画部	課(室)名	街づくり推進課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する	款	08 土木費
施策	03 都市拠点の機能を充実する	項	05 都市計画費
期間	平成23年度～平成27年度	目	03 都市改造費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	005 中心市街地整備事業
地区別	加古川地区		
関連根拠法令等	都市計画法、密集市街地整備法、加古川市住宅市街地総合整備事業補助金交付要綱		

【現状と課題】

現状と課題	寺家町周辺地区は、古くから商業の集積地として機能してきたが、接道条件の悪さや権利の複雑さなどから個別の建物更新が困難となり、老朽建築物が密集している。よって災害時における安全な避難空間の確保および消防活動や火災時の延焼遮断機能の確保が図れないなどの課題を抱えている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
中心市街地整備事業	事業に係る関係機関・事業者等の調整や協議を行うとともに、事業に係る事務を執り行う。	事業を円滑に遂行する。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		316	372		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
中心市街地整備事業に係る業務を着実に遂行しており、今後も引き続き事業の円滑な遂行に努める必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	372	内訳	国費	県費	市債	他	一般	372
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	都市改造事業に要する一般的経費		
部局名	都市計画部	課(室)名	街づくり推進課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する	款	08 土木費
施策	03 都市拠点の機能を充実する	項	05 都市計画費
期間	～ 永年	目	03 都市改造費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	020 都市改造事業に要する一般的経費
地区別	その他		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	JR 厄神駅及び神野駅の整備は完了しており、厄神駅周辺のアクセス道路や維持管理が必要となっているが、一部地権者との交渉が難航している。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
都市改造事業 (JR 加古川線厄神駅・神野駅等周辺整備事業)	都市改造事業に係る関係機関・事業者等の調整や協議を行うとともに、事業に係る事務を執り行う。	事業を円滑に遂行する。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		279	166		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
都市改造事業に係る業務を着実に遂行しており、今後も引き続き事業の円滑な遂行に努める必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	166	内訳	国費	県費	市債	他	一般	166
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	宝殿駅南駐車場管理事業		
部局名	都市計画部	課(室)名	街づくり推進課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する	款	08 土木費
施策	03 都市拠点の機能を充実する	項	05 都市計画費
期間	平成14年度～ 永年	目	01 都市計画総務費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	040 宝殿駅附近都市整備事業
地区別	その他		
関連根拠法令等	宝殿駅南駐車場の設置及び管理に関する要綱		

【現状と課題】

現状と課題	宝殿駅南再開発事業を実施するまでの暫定的な措置として、平成14年度に駅南広場へ駐車場を整備し、管理運営を継続している。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
車で移動をしている宝殿駅及び駅周辺施設等利用者	宝殿駅南に駐車場を設置、運営するとともに、維持管理を行う。	宝殿駅の利便性を向上させるとともに、駅前広場内の渋滞緩和を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		2,865	2,809		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
駐車場は月平均1,000台以上の利用があり、駅及び周辺施設利用者が気軽に利用できる駐車場として定着しているため、再開発事業が実施されるまでは継続すべきである。

※事業費と財源内訳

決算額	2,809	内訳	国費	県費	市債	他	2,809	一般
-----	-------	----	----	----	----	---	-------	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	厄神駅北駐車場等管理事業		
部局名	都市計画部	課(室)名	街づくり推進課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する	款	08 土木費
施策	03 都市拠点の機能を充実する	項	05 都市計画費
期間	平成13年度～ 永年	目	03 都市改造費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	030 厄神駅周辺整備事業
地区別	その他		
関連根拠法令等	加古川市厄神自動車駐車場の設置及び管理に関する条例及び同施行規則		

【現状と課題】

現状と課題	平成17年頃に厄神駅西に民間駐車場が完成したことなどにより、厄神駅北駐車場の利用は平成21年度から減少に転じた。このため、パークアンドライド駐車場として利用しやすいよう、平成25年4月から時間貸し料金と駐車台数の内訳（定期80台+時間25台）の見直しを行った。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象（だれ・何に対して）	手段（どういった方法で）	意図（どのような状態にする）
厄神駅の利用者数	駐車場の設置、運営するとともに、維持管理を行う。	パークアンドライド駐車場として、JR加古川線の利用促進、都心部への車流入の抑制、大気汚染の軽減を図る。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外				

活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		3,434	5,043		

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】（妥当性・有効性・効率性の視点から評価）

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】（上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価）

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
平成25年4月1日より、時間貸し駐車料金の上限設定（24時間最大600円）を行った結果、駐車場利用者数及び料金収入が増加した。今後も引き続き駐車場の利用啓発・周知を行っていくことにより、パークアンドライドを促進していく必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	5,043	内訳	国費	県費	市債	他	5,043	一般
-----	-------	----	----	----	----	---	-------	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	施設維持等に要する経費		
部局名	都市計画部	課(室)名	街づくり推進課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する	款	08 土木費
施策	03 都市拠点の機能を充実する	項	05 都市計画費
期間	平成22年度～永年	目	03 都市改造費
事業区分	⑥市施策事業(臨時)	細目	025 神野駅等周辺整備事業
地区別	その他		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	平成16年にJR加古川線が電化したことに伴い、同線の利用促進を図るべく、沿線各市の駅舎が更新された。本市では、地元住民から神野駅北口開設の要望が提出されたことを受けて、平成22年度に神野駅南北駅舎の更新を図り、JRと協議の結果、南駅舎は本市の管理となった。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
神野駅周辺(神野町・平荘町)の住民	神野南駅舎及び南広場等の清掃と目視点検による施設の維持管理を行う。	市民が安全かつ清潔に駅舎を利用できる環境を維持することにより、公共交通利用者を確保し、神野駅の都市拠点機能を高め、加古川線の利用促進も図る。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
神野駅周辺(神野町・平荘町)の住民	人		21,363	21,126		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
清掃回数	回		299	299	298	平成26年度

活動指標分析結果	平成25年度は、定期清掃298回、特別清掃1回実施している。		
事業費	千円	668	523

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
神野駅の利用者数	千人・年		832	840	826	平成26年度
清掃等に関する苦情件数	件		0	0	0	平成26年度

成果指標分析結果	神野駅の利用者は、平成19年度から減少傾向であったが、平成22年度以降は横ばいとなっている。また、平成25年度の清掃等に関する苦情件数は0回であった。
----------	---

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が中程度/義務的事業
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
神野駅利用者に対し、安全かつ清潔に利用できる環境を維持することにより、公共交通利用者を確保し、神野駅の都市拠点機能を高めている。

※事業費と財源内訳

決算額	523	内訳	国費	県費	市債	他	一般	523
-----	-----	----	----	----	----	---	----	-----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	中心市街地整備事業		
部局名	都市計画部	課(室)名	街づくり推進課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する	款	08 土木費
施策	03 都市拠点の機能を充実する	項	05 都市計画費
期間	平成23年度～平成27年度	目	03 都市改造費
事業区分	⑦投資事業	細目	005 中心市街地整備事業
地区別	加古川地区		
関連根拠法令等	都市計画法、密集市街地整備法、加古川市住宅市街地総合整備事業補助金交付要綱		

【現状と課題】

現状と課題	寺家町周辺地区は古くから商業の集積地として機能してきたが、接道条件の悪さや権利の複雑さなどから個別の建物更新が困難となり、老朽建築物が密集している。このため災害時における安全な避難空間の確保および消防活動や火災時の延焼遮断機能の確保が図れないなどの課題を抱えている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
寺家町周辺地区 (面積約0.8ha、加古川町篠原町および寺家町の一部)の権利者と居住者	住民および権利者等で構成する加古川市寺家町周辺地区まちづくり準備組合(認可後は事業組合)が施行する防災街区整備事業について、調査設計計画および土地整備、共同施設整備、地区公共施設等整備などに必要な経費の一部について補助金の交付を行う。なお、平成25年度は、建物調査、営業調査、地盤調査、建築設計及び権利変換計画書作成などに対し補助金を交付した。	住民主体による防災街区整備事業を推進し、加古川駅南西地区における防災に関する機能の確保と土地の合理的かつ健全な利用を図り、都心にふさわしい賑わいと住環境の創出を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
地区内の居住者数	人	19	15	14		
防災街区整備事業の対象面積	ha	0.8	0.8	0.8		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
準備組合(事業組合)の会議開催数	回/年	17	16	19	12	平成26年度
準備組合(事業組合)への補助金交付額	千円	19,003	52,208	91,768	495,682	平成26年度
活動指標分析結果	平成25年度は事業組合理事会を15回(第3回～第17回)と、通常総会1回および臨時総会を3回開催した。また、建物調査、営業調査、建築物実施設計、権利変換計画書作成を実施し、補助金の執行を行った。					
事業費	千円	21,628	52,208	91,768		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
防災街区整備事業の施設整備の進捗率	%		12	36.9	100	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値		1.2	4.6	13.9		
分譲住宅の販売率	%		0	0	100	平成27年度
上段:計画値/下段:実績値		0	0	0		
上段:計画値/下段:実績値						
成果指標分析結果	平成27年度末の防災街区整備事業における、防災施設建築物と公共施設の整備完了に向けて、概ね計画どおりの進捗が計られている。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地が考えられる(中小程度)
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地あり
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	おおむね適正であり、当分の間見直す必要がない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了	寺家町周辺地区防災街区整備事業は、地区内権利者の都市計画提案に基づき本市が都市計画決定している。また、本事業により防災道路と共同住宅が整備され、災害時における避難空間や消防活動区域の確保、延焼防止効果の向上、さらには都心居住の促進と中心市街地の賑わいの創出が期待できる。引き続き事業組合の施行による関係権利者の合意形成及び円滑な事業の推進を市として支援・指導することが妥当であると判断する。
--	---

※事業費と財源内訳

決算額	91,768	内訳	国費	44,843	県費	市債	5,300	他	一般	41,625
-----	--------	----	----	--------	----	----	-------	---	----	--------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	厄神駅周辺道路整備事業		
部局名	都市計画部	課(室)名	街づくり推進課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する	款	08 土木費
施策	03 都市拠点の機能を充実する	項	05 都市計画費
期間	平成22年度～平成28年度	目	03 都市改造費
事業区分	⑦投資事業	細目	030 厄神駅周辺整備事業
地区別	その他		
関連根拠法令等	道路法		

【現状と課題】

現状と課題	J R 厄神駅へのアクセスの改善のため、平成23年度から、道路整備事業に着手している。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
厄神駅周辺(八幡町・上荘町)の住民	J R 厄神駅への主要アクセス道路の整備工事を行う。 なお、平成25年度は市道下村3号線等の用地測量を行った。	J R 厄神駅へのアクセスの改善を行い、同駅の利便性の向上と J R 加古川線の利用促進を図る。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
厄神駅周辺(八幡町・上荘町)の住民	人		10,203	10,093		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
今年度までに整備された道路の延長距離	m		0	0	830	平成28年度
活動指標分析結果	平成25年度は用地測量を委託した。					
事業費	千円		3,251	14,871		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
事業進捗率	%			17	100	平成28年度
	上段:計画値/下段:実績値		4.6	11.2		
厄神駅の利用者数	千人・年		668	698	698	平成26年度
	上段:計画値/下段:実績値					
	上段:計画値/下段:実績値					
成果指標分析結果	平成26年度の用地買収に向けて事業を推進している。厄神駅の利用者は、平成20年度の三木鉄道廃止後、減少傾向となっていたが平成25年度は増加に転じている。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れている
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	改革実施/コスト削減実施済
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
J R 厄神駅へのアクセスの改善をめざし、事業を計画的に進めている。

※事業費と財源内訳

決算額	14,871	内訳	国費	県費	市債	13,300	他	一般	1,571
-----	--------	----	----	----	----	--------	---	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	加古川駅等周辺整備事業に要する一般的経費		
部局名	都市計画部	課(室)名	市街地整備課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する	款	08 土木費
施策	03 都市拠点の機能を充実する	項	05 都市計画費
期間	～ 永年	目	03 都市改造費
事業区分	①一般事務経費事業	細目	010 加古川駅等周辺整備事業
地区別	加古川地区		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	都市計画道路・駅北広場が整備され、通行車両及び駅利用者の利便性が向上した。仮換地が整備済のところは、全ての宅地が都市計画道路・区画道路に接し家屋の新築が進んでいる。
-------	--

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)	意図 (どのような状態にする)				
加古川駅等周辺整備事業 (加古川駅前地区・加古川駅北地区) の関係権利者	土地区画整理事業計画に基づき、整備計画を立て進捗を図る。	都市機能 (生活環境・利便性・防災性) の充実を図ることにより、健全な市街地を形成する。都市計画街路・駅北広場・区画道路が整備されることにより、交通の利便性及び安全性の向上に繋がる。また、道路・公園が整備されることにより、居住環境及び防災性の向上が見込まれる。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		1,562	1,271		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができませんか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
加古川駅等周辺整備事業に伴う事務費的経費。効率的な事務を進め経費削減に努める。

※事業費と財源内訳

決算額	1,271	内訳	国費	県費	市債	他	222	一般	1,049
-----	-------	----	----	----	----	---	-----	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	新在家歩道橋維持管理事業		
部局名	都市計画部	課(室)名	市街地整備課

【基本情報】

基本目標	0 5 快適に暮らせるまちをめざして	会計	0 1 一般会計
政策	0 1 機能的・効率的なまちを形成する	款	0 8 土木費
施策	0 3 都市拠点の機能を充実する	項	0 5 都市計画費
期間	平成23年度～ 永年	目	0 3 都市改造費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	0 1 0 加古川駅等周辺整備事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	エレベーターの設置により、移動の利便性及び安全性の向上が図られている。
-------	-------------------------------------

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)				
エレベーター施設利用者。	国道2号加古川バイパスの新在家歩道橋に設置されたエレベーターについて、本市が維持管理業務を国交省から受託したもの。	エレベーターの各機能を常時適正に発揮させ、安全かつ良好な運転状況を維持させる。				
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		5,922	5,549		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
安全良好な運転状況を維持するために必要。

※事業費と財源内訳

決算額	5,549	内訳	国費	県費	市債	他	5,549	一般
-----	-------	----	----	----	----	---	-------	----

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	加古川駅北自動車整理場管理事業		
部局名	都市計画部	課(室)名	市街地整備課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する	款	08 土木費
施策	03 都市拠点の機能を充実する	項	05 都市計画費
期間	平成24年度～平成28年度	目	03 都市改造費
事業区分	②施設維持補修事業	細目	010 加古川駅等周辺整備事業
地区別	市内全域		
関連根拠法令等			

【現状と課題】

現状と課題	徐々にではあるが利用者は増加しており、駅北ロータリーの混雑緩和に寄与することができている。路側帯に停車し乗客を乗降させていたツアーバスなどは、加古川B Pへのアクセスに便利な本施設の利用増が見られ、安全性の向上が図られている。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象 (だれ・何に対して)	手段 (どういった方法で)				意図 (どのような状態にする)	
加古川駅北ロータリーの利用者	加古川駅北ロータリーに隣接する31街区に自動車整理場を設置し、管理している。				加古川駅北ロータリーの混雑解消を図る。	
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度		
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、対象指標設定対象外						
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、活動指標設定対象外						
事業費	千円		8,266	9,049		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、成果指標設定対象外						

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業のため、個別評価対象外
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
利用者は増加の傾向にあるものの、ピーク時以外については、施設能力に余裕があることから施設活用を検討する。

※事業費と財源内訳

決算額	9,049	内訳	国費	県費	市債	他	2,036	一般	7,013
-----	-------	----	----	----	----	---	-------	----	-------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	加古川駅北土地区画整理事業		
部局名	都市計画部	課(室)名	市街地整備課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する	款	08 土木費
施策	03 都市拠点の機能を充実する	項	05 都市計画費
期間	平成5年度～平成28年度	目	03 都市改造費
事業区分	⑦投資事業	細目	010 加古川駅等周辺整備事業
地区別	加古川地区		
関連根拠法令等	土地区画整理法、東播都市計画事業加古川駅北土地区画整理事業施行に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	都市計画道路・駅北広場が整備され通行車両及び駅利用者の利便性が向上した。仮換地が整備済のところは、全ての宅地が都市計画道路・区画道路に接し家屋の新築が進んでいる。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)	意図(どのような状態にする)
・東播都市計画事業加古川駅北土地区画整理事業施行区域内の関係権利者。 ・加古川駅利用者など都心へのアクセス車両及び人	土地区画整理事業計画に基づき、整備計画を立て進捗を図る。	都市機能(生活環境・利便性・防災性)の充実を図ることにより、健全な市街地を形成する。都市計画街路・駅北広場・区画道路が整備されることにより、交通の利便性及び安全性の向上に繋がる。また、道路・公園が整備されることにより、居住環境及び防災性の向上が見込まれる。

対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
都市計画街路	m	0	0	30		
区画道路	m	15	115	40		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
物件移転補償	件	17	3	10	420	平成27年度
道路築造工事	m	15	115	70	6,987	平成28年度

活動指標分析結果	物件移転補償は10件契約をし、内5件繰越した。都市計画道路溝之口線30m、区画道路40mの施工を行った。
----------	--

事業費	千円	454,129	322,830	333,707
-----	----	---------	---------	---------

成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
物件移転率	%		95.7	98.1	100	平成27年度
		93.3	94.8	98.8		
道路整備率	%		90.4	90.8	100	平成28年度
		87.6	89.2	91.1		

成果指標分析結果	物件移転補償は残り7件を2年間でを行い、道路整備工事を3年間で施工し、平成28年度完成を目指す。
----------	--

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
早期の事業完了に向け、整備計画に基づき事業を進める必要がある。

※事業費と財源内訳

決算額	333,707	内訳	国費	県費	市債	他	一般	333,707
-----	---------	----	----	----	----	---	----	---------

加古川市事務事業評価シート〈平成25年度実施事業〉

事務事業名	加古川駅前土地区画整理事業		
部局名	都市計画部	課(室)名	市街地整備課

【基本情報】

基本目標	05 快適に暮らせるまちをめざして	会計	01 一般会計
政策	01 機能的・効率的なまちを形成する	款	08 土木費
施策	03 都市拠点の機能を充実する	項	05 都市計画費
期間	昭和52年度～平成29年度	目	03 都市改造費
事業区分	⑦投資事業	細目	010 加古川駅等周辺整備事業
地区別	加古川地区		
関連根拠法令等	土地区画整理法、東播都市計画事業加古川駅前土地区画整理事業施行に関する条例		

【現状と課題】

現状と課題	加古川駅前の再開発との関連により、商業地としての土地利用を考え、土地の高度利用を図り得る街区構成とし、都市計画街路等の公共施設の整備改善とともに、健全な市街地を造成している。
-------	---

【事業内容と指標及び事業費の推移】

対象(だれ・何に対して)	手段(どういった方法で)				意図(どのような状態にする)	
施行区域内の権利者	区画整理事業を終息するにあたり、土地区画整理審議会を開催し、換地処分に向けて設計業務委託を発注する。				土地利用の活性化を目指した土地区画整理事業について平成27年度に換地処分の公告を行い、その後、清算金の徴収・交付事務を進めて平成32年度に事業を終息させる。	
対象指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
土地区画整理事業対象面積	ha		6.3	6.3		
活動指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
土地区画整理審議会	回		1	3	2	
設計委託発注件数	件		1	1	1	
活動指標分析結果	平成25年度において、審議会については3回開催した。また換地計画を進めるための準備業務を行った。					
事業費	千円		3,019	7,448		
成果指標	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	目標年度
事業進捗率	%		90	90	100	平成29年度
	上段:計画値/下段:実績値					
	上段:計画値/下段:実績値					
	上段:計画値/下段:実績値					
成果指標分析結果	換地計画策定のための業務を実施すると共に審議会についても必要に応じ開催した。都市施設整備については、概成しており、進捗率には反映されていないが成果としては妥当なものとする。					

【個別評価】(妥当性・有効性・効率性の視点から評価)

妥当性	1 事業の実施主体として市の関与は妥当ですか。	評価	妥当性は高い
	2 事業の上位目標である施策に貢献していますか。	評価	貢献度が大きい
	3 事業を廃止・休止した場合、影響はありますか。	評価	影響は大
	4 事業の目的(対象・意図)を変える必要はありますか。	評価	変える必要はない
	5 事業に対するニーズを把握していますか。	評価	把握している
有効性	6 事業の成果(成果指標値)を向上させる余地はありますか。	評価	向上余地はない(成果は十分である)
	7 類似事業との統廃合ができますか。	評価	統廃合はできない/類似事業はない
	8 市民との協働を取り入れていますか。	評価	取り入れることが不可能または不適切である
効率性	9 事業の成果(成果指標値)を下げずにコスト削減の余地はありますか。	評価	コスト削減余地がない
	10 受益者負担の割合は妥当ですか。	評価	適正な受益者負担である・受益者負担になじまない

【総合評価】(上記をもとに所管部局が総合的に判断した評価)

<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
事業完了に向け、換地計画策定のうえ、換地処分、清算金徴収交付事務を進めていく。

※事業費と財源内訳

決算額	7,448	内訳	国費	県費	市債	他	一般	7,448
-----	-------	----	----	----	----	---	----	-------